

Compliance Manual

コンプライアンス マニュアル



はじめに コンプライアンスマニュアルの発行にあたって

SCOPE は、今年 4 月より「一般財団法人 港湾空港総合技術センター」として、新たな時代を迎えました。公共事業の実施を担う技術集団として、調達・施工に係る高度な調査研究・技術支援に対応可能な技術力の強化や経験豊かな人材を活用できる人材戦略を実践していかなければなりません。

その過程で、組織体制の再構築等に伴う内部統制システムの見直しや、事業環境の複雑化、多様化によるリスク管理の必要性が高まっています。

一方、継続的な公共事業実施への貢献という観点からの社会的役割・責任も果たしていかなければなりません。

近年、身近に耳にする「生産地の虚偽表示」や「賞味期限の偽造」、あるいは「インサイダー取引」、「粉飾決算」等々のコンプライアンス（法令遵守）違反の事例は絶えません。これらの企業倫理・社会的責務を規定するコンプライアンスをないがしろにした企業活動が原因で、企業の存立をも危うくしている例は、報道などでもご存じの通りです。

SCOPE が一般財団法人としてスタートするにあたり、もう一度原点に立ち返り、コンプライアンス、即ち、就業規則をはじめとする SCOPE の諸規則等はもとより、他の法令等を遵守する行動が、SCOPE の存続のみならず、SCOPE で働く役職員全員の社会生活を守ることに繋がることを再認識して頂きたいと思います。

そのため、この度、SCOPE の新しい体制と経営理念に沿った全役職員の行動規範について、「コンプライアンスマニュアル」（冊子）にまとめ、各位に配布するものです。

新生 SCOPE の役職員一人一人が、このマニュアルの規範、精神に則り、誇りを持って日々の業務に適切に対処し、邁進されることを心より願っております。

平成 25 年 4 月

一般財団法人 港湾空港総合技術センター
理事長 矢代 博昭





INDEX

1. SCOPE のコンプライアンスの仕組み	P. 4
2. コンプライアンスの定義	P. 5
3. 独占禁止法・下請法関連問題への対応	P. 6
4. 反社会的勢力・団体への対応	P.13
5. 政治家・公務員への対応	P.15
6. 刑事法関連問題への対応	P.23
7. 工事施工業務関連問題への対応	P.27
8. 情報・知的財産管理への対応	P.28
9. 法令違反のリスク	P.31
10. 国家公務員の再就職等規制関連問題への対応	P.32

【参考条文】

< SCOPE 関係規則等 >

就業規則（抄）
倫理方針
個人情報保護に関する基本方針
情報セキュリティ基本方針
コンプライアンスの推進に関する規則
職員の懲戒等に係る運用細則

< その他の関係法令 >

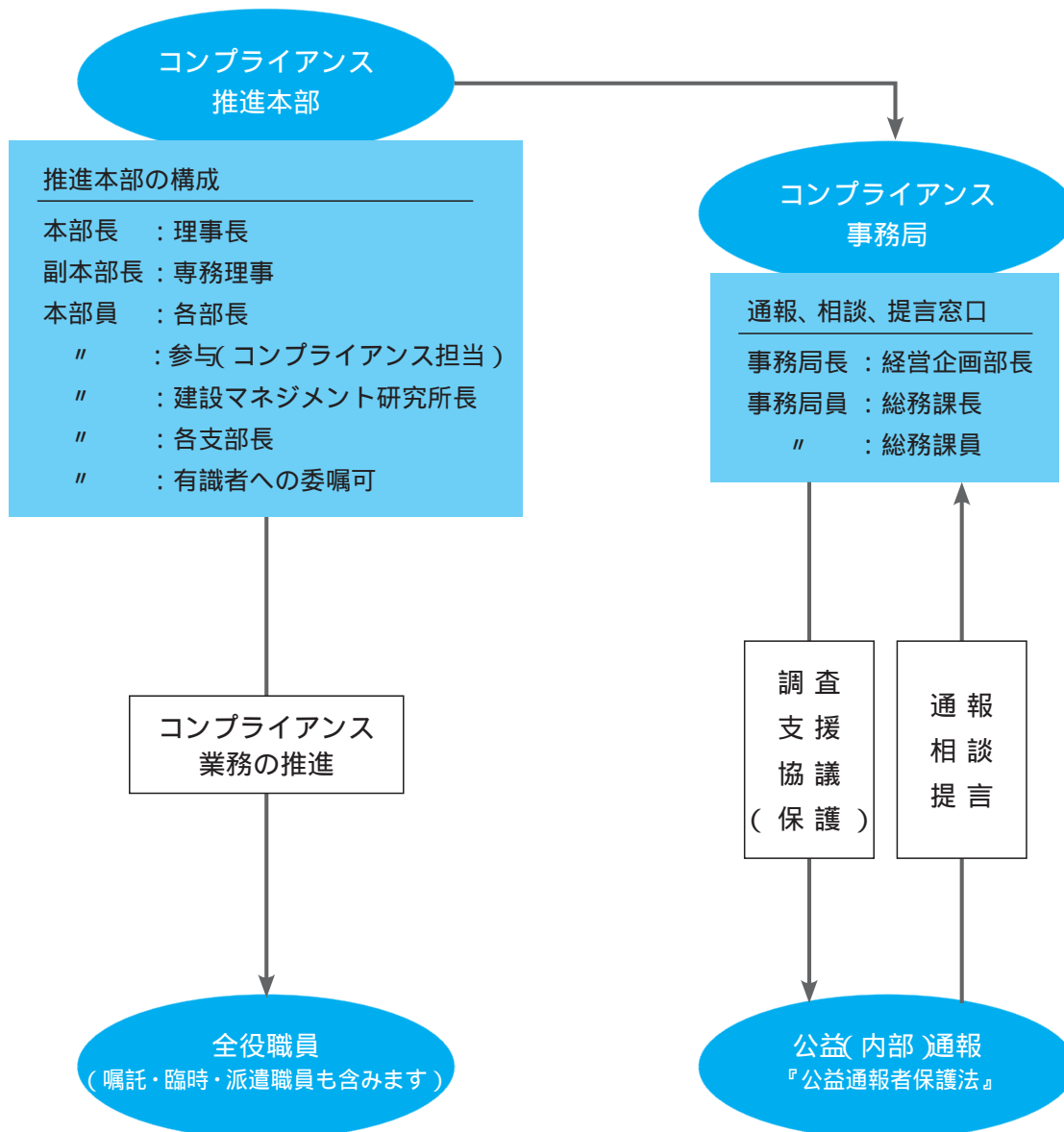
国家公務員法（抄）
国家公務員倫理法（抄）
国家公務員倫理規程（抄）

SCOPEの コンプライアンスの仕組み

SCOPEは、コンプライアンスの推進にあたり、平成21年4月から「コンプライアンスの推進に関する規程」を制定し、コンプライアンスに係る体制を構築するとともに、その推進に必要な事項を定め、もってSCOPEの社会的信頼の維持、業務の公正性の確保を図ってきています。

この度、上記規程は、本年(平成25年)4月1日から、新生SCOPEの誕生とともに、「コンプライアンスの推進に関する規則」に改称し、一部その内容を変更、拡充するなどして再スタートしています。以下は、新規則に基づく、「SCOPEのコンプライアンス推進本部(事務局)」の仕組みの概要です。

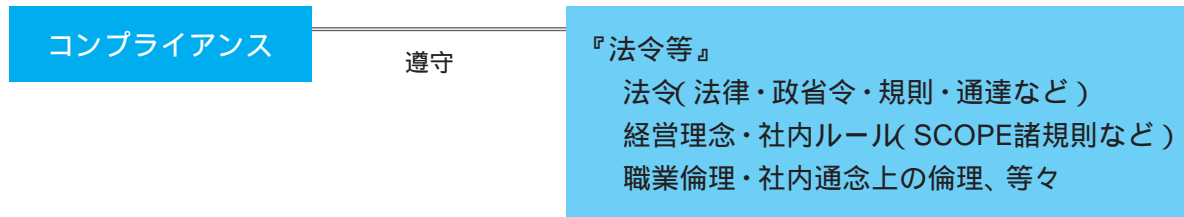
SCOPEのコンプライアンス推進本部の仕組み



PART
2

コンプライアンスの定義

コンプライアンス(Compliance)とは、SCOPE及び全役職員が、法令は勿論のこと、職業論理、経営理念や部内ルールなどの規範を遵守し、社会的責任を自覚し、よりよき職業人としての価値観・倫理観に基づいた行動をとることを言います。



SCOPEとして遵守すべき法令等には様々なものがあります。下図はすべてではありませんが、SCOPEが関係しそうな法令等のイメージを表しました。

【イメージ図】

